

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	技術・家庭（技術分野）
発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</p> <p>①小項目ごとに、「目標」が1～2点箇条書きで示されている。また、チェックできる欄（□）が設けられている。</p> <p>②基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>①各内容の最初のページ見開きで、左ページに「技術の見方・考え方」、右ページに「発見！技術の最適化」を掲載し、身近な製品の具体例とともに、既存の技術の工夫について示している。また、各内容第1章の最後に、「チェック技術の見方・考え方」を掲載し、気付いた技術の見方・考え方について、まとめることができるようにしている。</p> <p>②ガイダンスにおいて、「問題の発見、課題の設定」、「設計・計画」、「製作、制作、育成」、「成果の評価、改善・修正」、「新たな問題の発見」という技術による問題の解決の学習過程を示し、社会での技術による問題の解決の過程の具体例を掲載している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</p> <p>①ものづくりの最適化など、ガイダンスに重きを置いている。</p> <p>②実習例の全ての手順を写真で構成し、ひと目で作業が分かるようになっている。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</p> <p>①中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マーク（26）で示されており、関連する教科・学年・単元概要の記載がある。小学校の各教科等の学習内容との関連については「小学校」マーク（11）で示されており、関連する教科・学年・単元概要の記載がある。</p> <p>②問題解決例は、「問題の発見」、「課題の設定」を同じ位置に配置し、製作、制作、育成の手順については、手順ごとに番号と写真を用いて示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</p> <p>①生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「活動」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」で示されている活動を取り上げている。</p>

教図	<p>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</p> <p>①小項目ごとに、「めあて」が1～2点箇条書きで示されている。 ②基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。</p> <p>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</p> <p>①各内容の最初のページ見開きで、各内容における技術の発展の具体例を取り上げるとともに、技術を最適化する際の着目する視点について記載している。 ②各内容の製作実習例を「題材例」として18事例取り上げ、製作・制作・育成の手順を示すとともに、8事例において、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。</p> <p>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</p> <p>①複合的な内容が充実している。 ②各内容で合計32の実践例が示してある。統合的な問題の解決の実践例の数は2である。</p> <p>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</p> <p>①中学校の各教科等の学習内容との関連については「リンク」マーク（5）で示されており、関連する教科の記載がある。小学校の各教科等の学習内容との関連については「リンク」マーク（10）で示されており、関連する教科の記載がある。 ②題材例は、制作、制作、育成の手順について、手順ごとに番号と写真を用いて示している。</p> <p>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</p> <p>①生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「やってみよう」で示されている活動を取り上げている。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着

- ①小項目ごとに、「学習の目標」が1～2点箇条書きで示されている。チェックできる欄(□)が設けられている。
- ②基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。

(イ) 第2の観点(イ) 主体的に学習に取り組む工夫

- ①ガイダンスにおいて、見開きで「技術の見方・考え方」を掲載し、電気ストーブにおける技術の工夫やしくみを通して、「技術の見方・考え方」を示している。
- ②各内容の製作実習例を「実習例」として28事例取り上げ、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。

(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量

- ①材料と加工の技術に重点が置かれている。
- ②各内容で合計29の実践例が示してある。統合的な問題の解決の実践例の数は1である。

(エ) 第4の観点 内容の表現・表記

- ①中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マーク(13)で示されており、関連する教科・学年・単元概要の記載がある。小学校の各教科等の学習内容との関連については「小学校」マーク(9)で示されており、関連する教科・学年・単元概要の記載がある。
- ②実習例は、「身近な問題の発見」、「課題の設定」、「設計・制作」、「評価・改善」などの学習の過程ごとに枠囲いを行い、流れを図示している。

(オ) 第5の観点 言語活動の充実

- ①生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」、「やってみよう」で示されている活動を取り上げている。